

2016年4月27日

## 富士重工業 ボーイング 777X 向け 中央翼組立工場が完成

富士重工業は、航空宇宙カンパニー半田工場(愛知県半田市)敷地内に、新たに3棟目となる組立工場を建設し、本日4月27日に竣工式を行いました。

新工場の建築面積は約11,600㎡であり、今後、最新鋭の自動打釘機に加えて自動搬送装置や塗装設備等を装備した生産ラインを設置します。この工場では、米国ボーイング社の次世代旅客機「777X」の胴体と主翼をつなぐ重要な部位である中央翼の組立・生産を、本年度末から開始する予定です。

半田工場では、これまでボーイング社の大型旅客機「777」「787」、および防衛省の「固定翼哨戒機(P-1)」「輸送機(C-2)」の中央翼の組立・生産を行っており、今回「777X」中央翼組立工場が完成したことによって、半田工場は世界的にも類まれな中央翼生産センターとなります。

富士重工業は、完成機生産に加えて複合材部品を含む中央翼・主翼の開発・製造も得意技術の一つとしており、今後も自社の技術をさらに磨き、世界の航空機産業に確固たる地位を築くよう努めていきます。



777X 中央翼組立工場外観



竣工式